

安全を見守る

空気が乾燥し、火災が起きやすくなる季節です！

全国一斉 秋の火災予防運動

◎火を使う機会も増え、空気も乾燥し、火災が起きやすくなる季節です！

全国一斉 秋の火災予防運動が、11月9日(火)～15日(月)までの7日間実施されます。

桂川町でも、11月7日～13日の間、各地域においても消防団が夜警・火災予防啓発活動等を行います。またこの期間中、20時には防災サイレンを1分程度鳴らします。

◎秋の火災予防運動2大推進項目

今年度の秋の火災予防運動では、2つの大きな推進項目が掲げられています。

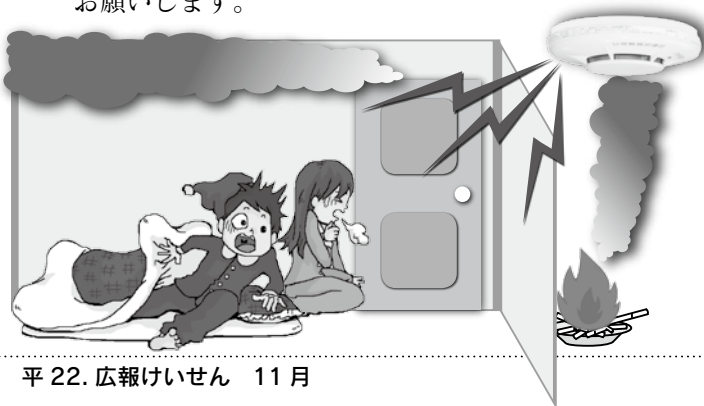
①住宅防火対策の推進

住宅用火災警報器の設置はお済みですか？

昨年度、飯塚地区消防本部管内で発生した建物火災（60件）のうち、就寝時間帯にあたる20時～翌朝6時の間に発生した火災は23件で約4割に上ります。もし、2階の寝室でグッスリ寝入っている時、1階で火災が発生したと想像したら、ゾッとしませんか？

平成16年の消防法の改正により、現在はすべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。

住宅用火災警報器は、煙や熱を感知して、一早く火災発生を知らせてくれます。住宅用火災警報器を備えていたことで、大切な生命や財産を守ることができた事例も数多く報告されています。また、未設置の世帯では、早急の設置をお願いします。



※近年、これに便乗した不適正な価格（市場価格を超える高額な価格）・無理強い販売などを行う業者も発生していますので、ご注意ください。

住宅用火災警報器は、商品の説明書に従えば、個人でも容易に取り付けることが可能なため、お近くの電気器具販売店やホームセンターなど、取り扱っているところで購入できます。販売店によっては、取り付け（有料）サービスもありますので、購入時にご相談ください。

②放火火災防止対策の推進

放火対策はお済みですか？

平成21年中の放火（放火疑い含む）による火災は、全国で1万1,205件となっており、全火災件数の約2割を占めます。昨年度、飯塚地区消防本部管内で発生した火災（92件）のうち、放火（放火疑い含む）は20件で、火災発生原因のトップになっています。

放火火災は、死角となる場所や深夜に発生することが多く、放火を防ぐためには何よりも放火されない環境づくりが必要です。

- 家の周りは整理整頓し、燃えやすい物を置かない！
- ゴミは指定日の決められた時間に出す！
- 空家、車庫、物置などは確実に施錠する！

【参考】

飯塚地区消防本部管内における過去5年間における出火原因の上位

	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年
1位	放火 26件	放火 23件	放火 33件	放火 19件	放火 20件
2位	こんろ 11件	こんろ 9件	たばこ 14件	たばこ 14件	こんろ 8件
3位	火遊び 7件	たき火 6件	たき火 7件	こんろ 12件	火入れ 7件

昨年度、飯塚地区消防本部管内で発生した放火（放火疑い含む）による火災の発生時間帯は、20件中8件が22時～翌朝6時の間に発生し、14時～18時の夕方にかけても6件と多く発生しています。